

# 欲しいクルマを

# 欲しい人のために

どうすれば、自分たちが「欲しい」と思えるクルマを、「欲しい」と考えてくださる方のもとにお求めやすい価格で、しかも素早く届けることができるか。それを考え抜いた結果、S660は従来とは異なる生産方法を採用するに至りました。

それは、工場を大規模につくり変えるのではなく、いまある設備に合わせてフレキシブルに対応できるクルマづくりを行うこと。つまり、自ら考えることができ、これまでに蓄積してきた技術を用いて、多種多様な作業を行うことのできる「人」による作業領域を広げるということでした。



S660の生産を行う八千代工業(株)・四日市製作所では、これまでに多くの軽自動車を生産してきたノウハウをフル活用。既存の設備に「人の手」を組み合わせた生産ラインを構築しました。プレス工程の大幅な効率化を可能にした「ワンショット成形技術」の最先端技術や、高効率な最新の溶接技術等を取り入れつつも、豊富な経験と確かな技術を持った生産スタッフの手作業を積極的に加えることで、アクティトラック等の車種の生産を行いながら、それとは異なる規模の「少量生産」を同時に効率よく行うことができるようになりました。

さらに、この生産方法によるメリットは、少量生産を効率よく行えることだけではありません。特に溶接工程においては、一台一台、熟練作業者の手によって合わせ込みをしながら作業を行うことから、スポーツカーの走りを決める上で重要な要素である、ボディの精度も高めることができました。

走ることが大好きな人が設計したクルマを、走ることが大好きな人が生産し、走ることが大好きな人へ届ける。スポーツカーとしてこれ以上無いほどの幸せな生み出し方を実現するためのHondaのチャレンジなのです。

## S660ができるまで

### 1

### 最新技術を取り入れたプレス工程

フロントフロアの成形に「ワンショット成形」技術を取り入れて効率を高めています。これは、従来複数の工程を経て行っていた成形を、ひとつの金型で行うことを可能にするもので、コストが上昇しがちな「少量生産」において、高品質な製品を低コストで生産することができるようになります。

#### 通常のプレスとワンショット成形技術の違い 説明図

##### 通常のプレス



##### ワンショット成形

